



2025年3月17日

各 位

会 社 名 オリエンタルチエン工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 西村 武
(コード番号：6380 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理部 マネージャー 林 泰弘
(TEL 076-276-1155)

株主による臨時株主総会招集請求に関するお知らせ

当社は、当社株主より、会社法第297条第1項の規定に基づき、臨時株主総会招集請求（以下「本請求」といいます。）に関する書面（2025年3月12日付臨時株主総会招集請求書）（以下「本請求書」といいます。）を2025年3月14日に受領しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 請求者の概要

株式会社沖縄サンアール

請求者は、当社の総株主の議決権の100分の3以上の議決権を6か月前から引き続き保有している株主であります。

2. 請求の内容

(1) 株主総会の目的事項

- ① 取締役 西村 武 の解任の件
- ② 取締役 石尾 俊明 の解任の件
- ③ 取締役 中村 智丈 の解任の件
- ④ 取締役 吉田 一也 の解任の件
- ⑤ 取締役4名選任の件

(2) 招集の理由等

本請求書の全文を別紙として添付しておりますので、ご参照ください。

3. 当該請求への会社の対応方針

本請求に対する当社の対応方針につきましては、本請求の内容を慎重に検討の上、決定次第開示いたします。

以上

2025年3月12日

〒924-0016

石川県白山市宮永市町485番地

オリエンタルチエン工業株式会社

代表取締役 西村 武 殿

所在地：東京都港区浜松町二丁目2番15号

浜松町ダイヤビル2F

名 称：株式会社沖縄サンアール

代表取締役 相良 健志

臨時株主総会招集請求書

株式会社沖縄サンアール（以下「当社」といいます。）は、貴社の株式を合計59,900株保有しており、貴社の総株主の議決権の100分の3以上の議決権を6か月前から引き続き有する株主ですので、会社法297条1項に基づき、下記のとおり、貴社の臨時株主総会の招集を請求します（以下「本請求」といいます。）。

記

第1 株主総会の目的である事項

議題1 取締役 西村 武 の解任の件

議題2 取締役 石尾 俊明 の解任の件

議題3 取締役 中村 智丈 の解任の件

議題4 取締役 吉田 一也 の解任の件

議題5 取締役4名選任の件

第2 招集の理由

1 本請求に至った背景・理由

(1) 貴社は、2024年3月期の有価証券報告書において、「景気動向に左右されない持続的な成長を成し得る企業となるための施策と、企業発展の基盤をより確かなものに築きあげる」という目標を掲げ、同期を初年度とする2026年3月期までの「第7次3か年経営計画」の実施を謳っております。

そして、同計画においては、貴社の経営方針及び経営戦略等に則り、1年目である2024年3月期は営業利益率4%以上、最終年度である2026年3月期は営業利益率6%以上を目標として設定し、企業価値の向上と安定した配当を目指している旨を宣明しております。

貴社は、2024年3月期こそ、営業利益率4%以上の目標を達成することができ、2024年5月9日付の決算短信においても、2025年3月期の業績予想につき、中間期予想の売上高が2082百万円、営業利益が113百万円、営業利益率が約5.4%である旨、及び、通期予想の売上高が4183百万円、営業利益が241百万円、営業利益率が約5.8%である旨を、それぞれ公表しておりました。

しかし、貴社は、2024年11月7日付「第2四半期（中間期）の業績予想と実績との差異および連結決算移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」において、実績値の売上高が1989百万円、営業利益が85百万円、営業利益率が約4.3%である旨を公表し、予想値を大幅に下回る数値となってしまったことが明らかになりました。また、その際の決算短信において貴社が公表した2025年3月期の通期予想では、連結売上高が4142百万円、連結営業利益が232百万円、連結営業利益率が約5.6%であったにもかかわらず、貴社は、2025年2月6日付「2025年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、この予想も大幅に変更し、連結売上高を4001百万円、連結営業利益を122百万円、連結営業利益率を約3.0%と、著しい下方修正となりました。

このように、貴社は、「第7次3か年経営計画」を大々的に謳っておきながら、2025年3月期の業績予想は、当初の予想値から大幅に下方修正されております。このままでは、2026年3月期の最終目標である営業利益率6%以上を達成することは到底不可能であるばかりか、貴社の業績は、下降の一途を辿るのみという状況も危惧されるところです。

(2) また、上記のような厳しい業績の中において、貴社では、現代に即した的確かつ迅速な経営判断が求められ、既存事業の立直しに加えて新規事業を積極的に創出していくことが急務です。

そこで、貴社の業績をいち早く回復させるためには、現代に即した的確かつ迅速な経営に転換していく必要があります。

(3) 以上のとおりですので、貴社においては、既存事業の立直しを図るとともに、新規事業の立上げによる新たな収益の柱を創出することが急務となりますが、もはや現業務執行取締役に対し、それらを期待することはできません。

そこで、当社は、以上の貴社が抱える様々な課題を克服し、貴社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を果たす重要な役割を現経営陣らに委ねることはできないと判断し、上記第1の各議題を会議の目

的とする臨時株主総会の招集請求を行ったものであります。

2 株主提案の内容について

(1) 議題1から議題4：取締役である西村武氏、石尾俊明氏、中村智丈氏及び吉田一也氏の解任の件

【議案の要領】

取締役である西村武氏、石尾俊明氏、中村智丈氏及び吉田一也氏をそれぞれ解任するものであります。

【提案の理由】

上記1の(1)で述べたとおり、貴社の経営成績は、2024年3月期予想において2度にわたる下方修正が行われ、大々的に銘打った「第7次3か年経営計画」の目標達成が絶望的な状況となっております。

また、上記1の(2)で述べたとおり、貴社の立直しを図るには、現代に即した的確かつ迅速な経営判断が求められ、既存事業の立直しに加えて新規事業を積極的に創出していくことが急務であり、そのためには、高齢化した現業務執行取締役を刷新して、経営陣の大幅な若返りを実現することが重要です。

以上、早急に貴社の事業の見直し及び業績の立直しを図るべく、貴社の経営体制を刷新する目的から、上記取締役4名の解任を提案するものであります。

(2) 議題5：取締役4名選任の件

【議案の要領 及び 提案の理由】

貴社の経営体制の強化及び早期の業績立直しを図るため、以下の候補者4名を貴社の取締役として、新たに選任するものであります。

① 取締役候補者1

(氏名・生年月日)

深野 隆也

1984年5月30日生

(略歴)

2007年4月 花王グループカスタマーマーケティング株式会社 入社

2020年6月 株式会社ロビンソン 代表取締役

(重要な兼職先)

株式会社ロビンソン 代表取締役

(取締役候補者として提案する理由)

深野氏は、マーケティングに10年以上携わってきており、貴社の既存ビジネス及び新規ビジネスにおいて、顧客の新規ニーズ開拓が期待できることから、同氏を取締役候補者として提案するものであります。

② 取締役候補者 2

(氏名・生年月日)

相良 健志

1965年7月13日生

(略歴)

1988年4月 第一証券株式会社(現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社) 入社

2003年1月 UFJつばさ証券株式会社(現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社) 退社

2003年2月 株式会社 Noah's planning(現 DIRECTION 株式会社) 入社

(重要な兼職先)

該当事項なし

(取締役候補者として提案する理由)

相良氏は、金融事業について、特にファイナンス業務における豊富な知見と経験を有しており、新規事業のために資金調達を実施する際に、その知見と経験の活用が期待できることから、同氏を取締役候補者として提案するものであります。

③ 取締役候補者 3

(氏名・生年月日)

櫻井 重彰

1953年2月26日生

(略歴)

1977年4月 日興証券株式会社(現 SMBC日興証券株式会社) 入社

1981年3月 光興業株式会社(現 昭光通商株式会社) 入社

1987年10月 第一証券株式会社(現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社) 入社

1997年5月 株式会社ティー・シー・シー(現 株式会社CAICA DIGITAL) 入社

2000年10月 株式会社ファルコン 取締役(兼任)

2003年10月 インフォネットシステム株式会社 入社

2004年7月 株式会社アクセル 入社

2011年10月 株式会社バディージャパン 入社

2012年6月 株式会社ゼンニックス 入社

2013年2月 株式会社情報システム総合研究所 入社

2013年6月 同社 常勤監査役

2023年12月 同社 代表取締役社長(現任)

2024年6月 バイオセラミック株式会社 代表取締役

(重要な兼職先)

株式会社情報システム総合研究所 代表取締役社長

バイオセラミック株式会社 代表取締役

(取締役候補者として提案する理由)

櫻井氏は、大手証券会社の事業法人部に所属し、多くの企業との関わりを多く持ち、その人脈を通じて、貴社の取引の拡大や、新規事業の企画開発を期待できることから、同氏を取締役候補者として提案するものであります。

④ 取締役候補者 4

(氏名・生年月日)

湯川 洋兒

1951年11月9日生

(略歴)

1974年4月1日 朝日生命保険相互会社 入社

1999年4月1日 朝日ライフアセットマネジメント株式会社 常務取締役 (CIO)

2000年5月1日 株式会社ナレッジカンパニー (ベンチャーキャピタル会社) 設立

2006年10月1日 株式会社ナレッジキャピタル (ナレッジキャピタルファンド) 設立

代表取締役

(重要な兼職先)

株式会社ナレッジキャピタル 代表取締役

(取締役候補者として提案する理由)

湯川氏は、20年以上、VC ファンドを運営し、投資後、8社を株式市場に上場させた実績があり、多くの企業への経営に関与し、企業に対するコンサルティング能力に長けており、貴社の業績改善への寄与が期待できることから、同氏を取締役候補者として提案するものであります。

第3 招集の請求

以上、当社は、本書面到達の日から8週間以内の日を総会開催日とする貴社の臨時株主総会を招集するよう請求します。

以 上